

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 研究課題番号 | 5-1802                          |
| 研究課題名  | 2020 年船舶燃料油硫黄分規制強化による大気質改善効果の評価 |
| 研究実施期間 | 平成 30 年度～令和 2 年度                |
| 研究機関名  | 明星大学                            |
| 研究代表者名 | 櫻井 達也                           |

## 1. 委員の指摘及び提言概要

瀬戸内海地域における高濃度 PM2.5 現象の発生などに関連して、2020 年船舶燃料油硫黄分規制前後という貴重な機会を捉えた研究を組織的、合理的に実施して、優れた研究成果をあげるとともに、行政的にも有用な知見を提供したと評価される。船舶用燃料の硫黄含量への規制が一斉にかけられたタイミングを捉えて、その前後での  $\text{SO}_3$  などの濃度の変化を明らかにし、規制の効果を提示できたことは、十分な成果が上げられたものと評価する。船舶燃料油中硫黄分濃度の規制の影響評価は行政施策の評価の上でも重要である。研究で得られた船舶排出量 DB はすでに公開され、瀬戸内海以外の地域での影響の評価等も期待できる。瀬戸内海の空気滞留特性を踏まえると、今後に大型固定発生源の対策が重要であることも示唆されている。

## 2. 採点結果

評価ランク：A